|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 和名 | コノテガシワ | 科名 | ヒノキ科 |
| 学名 | *Platycladus orientalis* |
| 英名 | Chinese Arborvitae | インドネシア名 | Cemara kipas |
| 原産地 | 中国 | 用途 | 観・薬 |

15mを超える常緑針葉高木で、枝は密に出てほぼ直立し、枝葉の表裏の区別がありません。枝が直立する様子が、子供が手を上げる様子に似ていることからコノテガシワの名が付けられました。

雌雄異花で雌花は淡紫緑色、雄花は黄褐色です。JJSでは花は咲いたことがありません。

果実は丸く、角状の突起がある独特の形で、色は淡灰青色です。

寺院、公園などに植栽し、繁殖は実生、または挿し木によります。

種子を柏子仁（はくしにん）といい、滋養強壮剤に、葉を側柏葉（そくはくよう）といい、収斂・止血剤に用います。